



寄興

倦きもや家小窓きり梅市 如風
 玉簾のそとゆりも猫の春 幸和
 羨海乃うへにのこきまあれ 金馬
 空舟れに波流りうも猫 花雪
 糸柳や魚の飛つく夕まくれ 嵐夕
 嘆せうやあせぬ園のふ菜女 女川
 志つしりや西の抱きも柳あふ 花農
 孫召誰治る鳥帽子れかむきぬ 金谷



雪れききあがり 昼はつと 文亭
 三國子孫をのこしてあられ 一志
 何ろ酔の歌よき余よし春の雪 東仰
 小系女や袂うらぬ此世のこころ 連枝
 不語うの流るに春の光ふ 甘谷
 風うり梅のりきや紫乃鹿 馬橋
 孫ふるむ色のふきまをさき 樗菴

壬戌春

